

2016年度第2回 バイオインフォマティクス実習

integrative genomics viewerでマッピングしたシークエンスを可視化する

前回

- マウスmm10 染色体1番のシークエンスをインデックス化
- bowtieを使ってSRR1805875のデータ(サイズを縮小)をマッピング
- samファイル形式で出力

今回

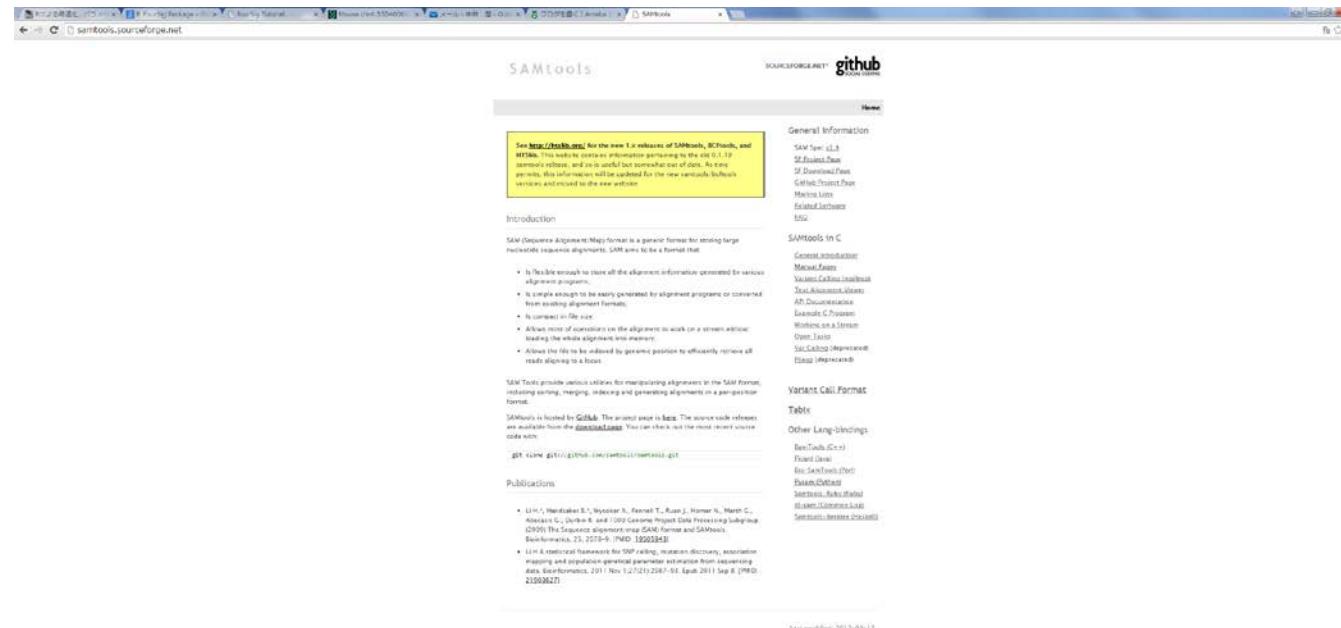
- sam→bamファイルへ変換
- bamファイルをソート
- indexを作成
- integrative genomics viewerにアップロード

samtoolsを使ってsam→bam変換

- samtools

マッピングしたデータを操作するツール

<http://samtools.sourceforge.net/>で配布



samtoolsのcygwinでのインストール

- ソースコードsamtools-1.x.tar.bz2をダウンロード解凍する
- Cygwin terminalで解凍したフォルダへ移動
- makeと入力

sam→bam変換

Cygwin



```
$ cd work_space ↩  
$ samtools view -bS part_SRR1805875.sam > part_SRR1805875.bam ↩
```

sam→bam変換の書式

samtools view -bS samファイル名 > bamファイル名

bamファイルのソート

Cygwin

```
$ samtools sort part_SRR1805875.bam part_SRR1805875_sort ↩
```

ソートの書式

samtools sort bamファイル名 ソート後のbamファイル名(拡張子.bam無し)

インデックスファイル作成

Cygwin

```
$ samtools index part_SRR1805875_sort.bam
```



ソートの書式

samtools index ソート後のbamファイル名(拡張子.bam有り)

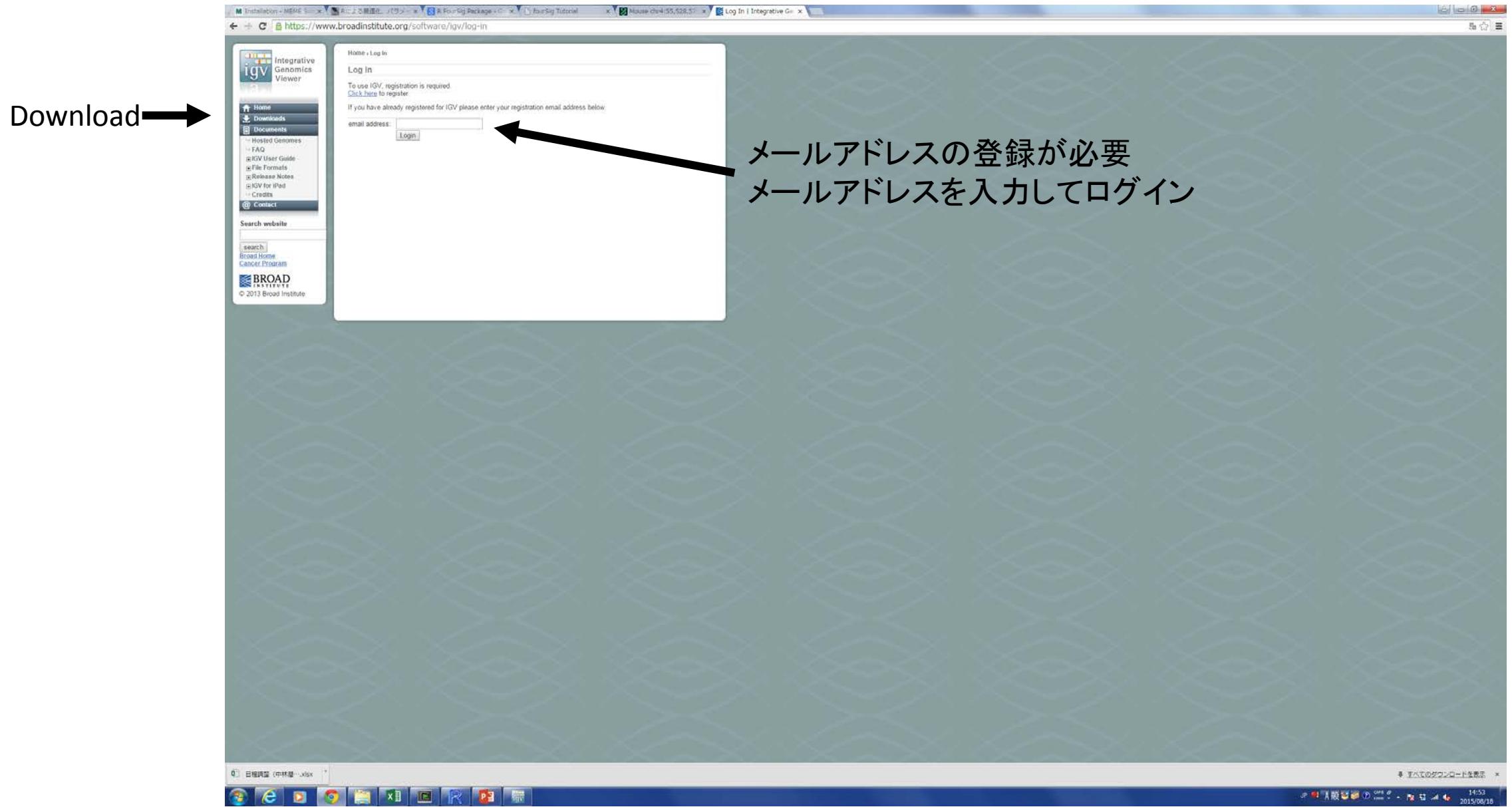
bamファイル名.bam.baiという名前のインデックスファイルを作成してくれる

integrative genomics viewer

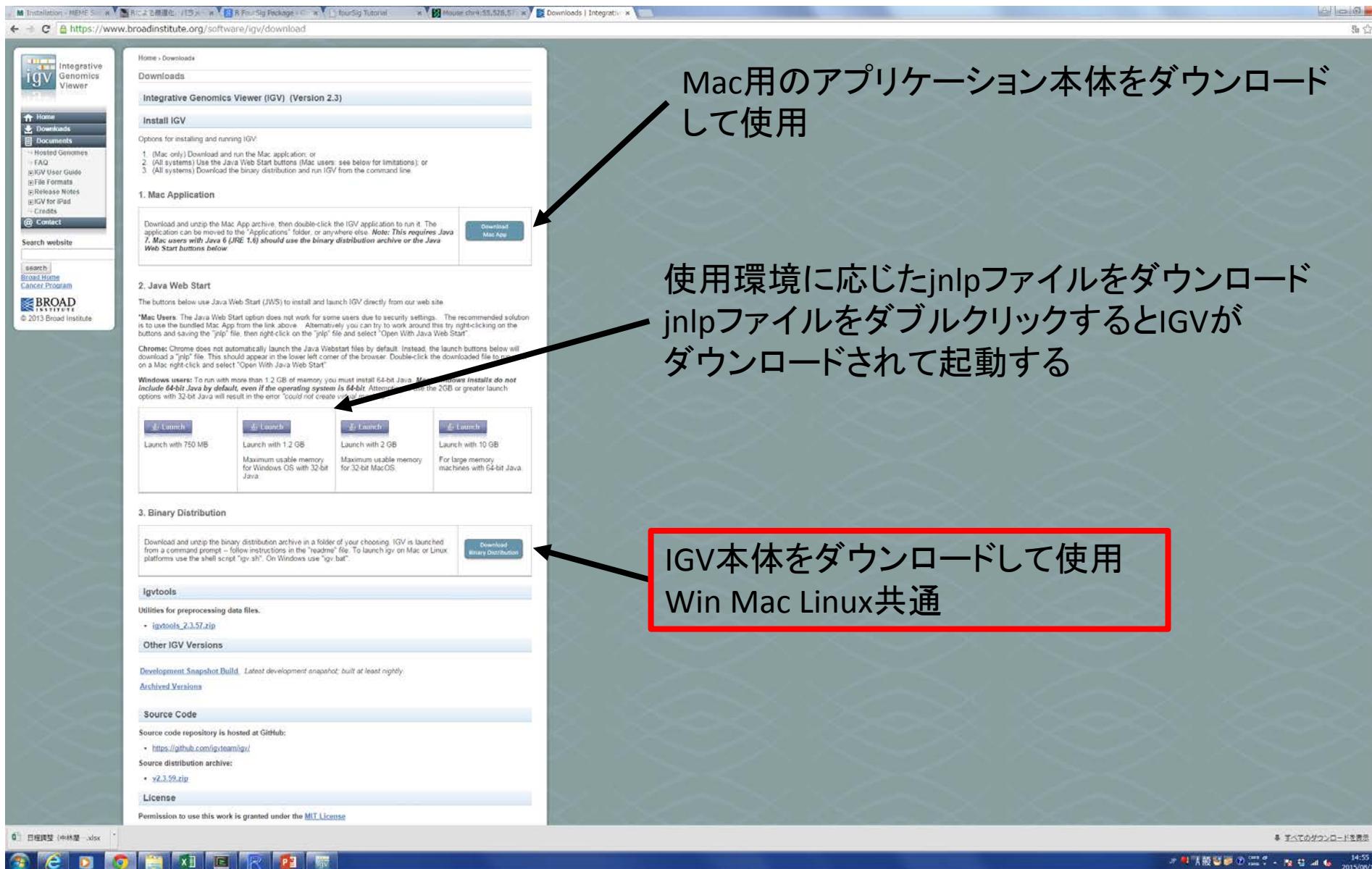
<http://www.broadinstitute.org/igv/>



ダウンロードページ



ダウンロードページ



Mac用のアプリケーション本体をダウンロードして使用

使用環境に応じたjnlpファイルをダウンロード
jnlpファイルをダブルクリックするとIGVがダウンロードされて起動する

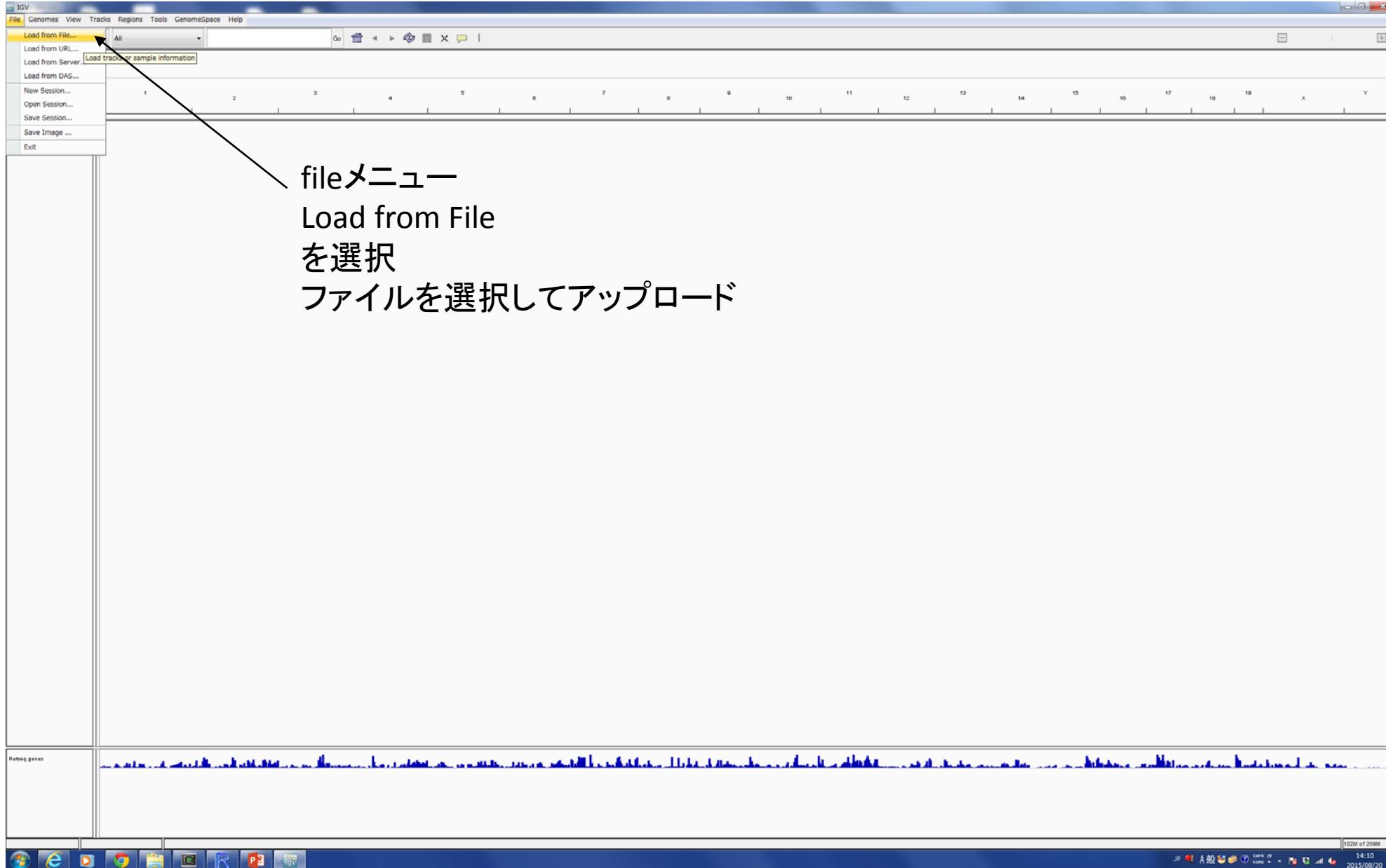
IGV本体をダウンロードして使用
Win Mac Linux共通

IGV

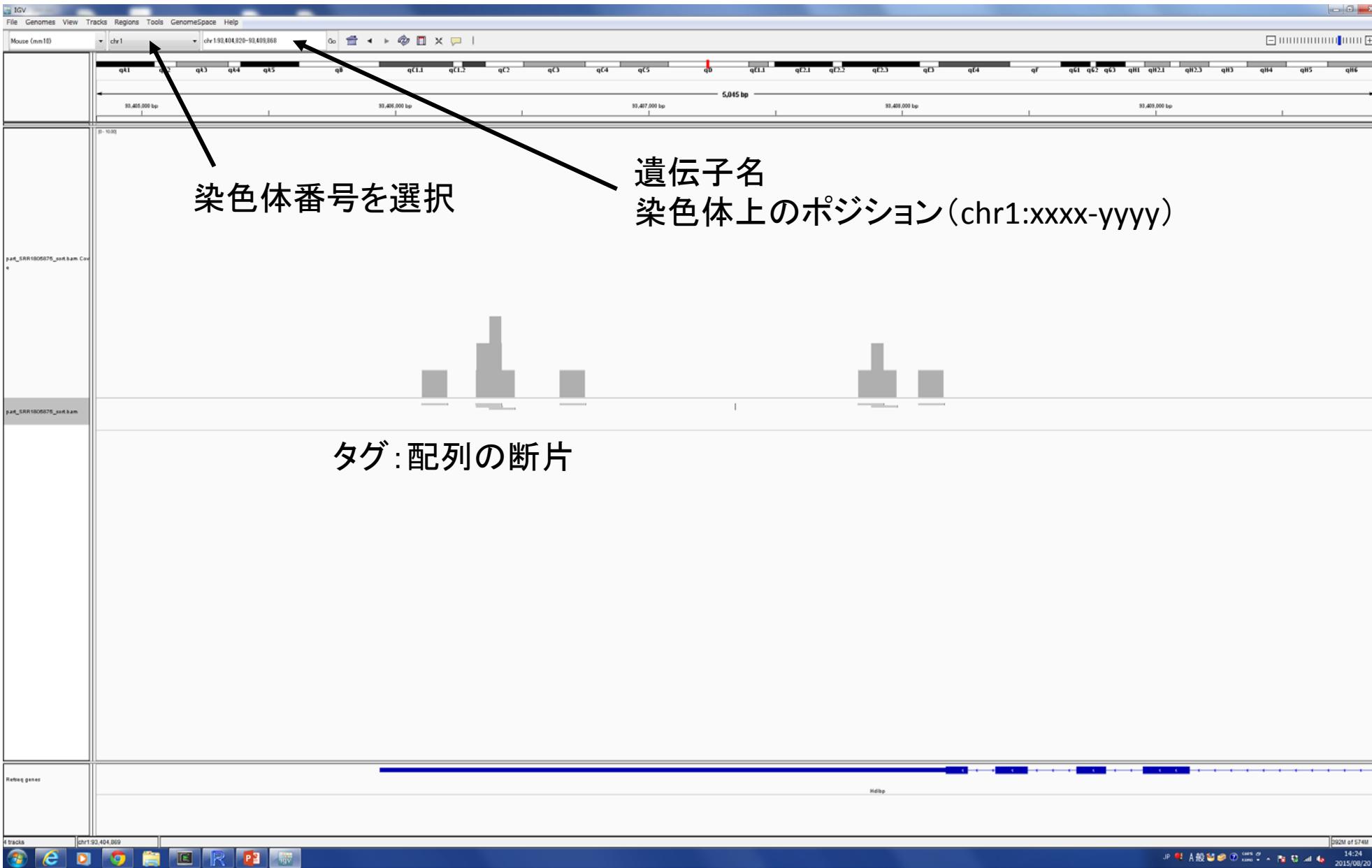
ゲノムを選択 mouse mm10



fileをupload

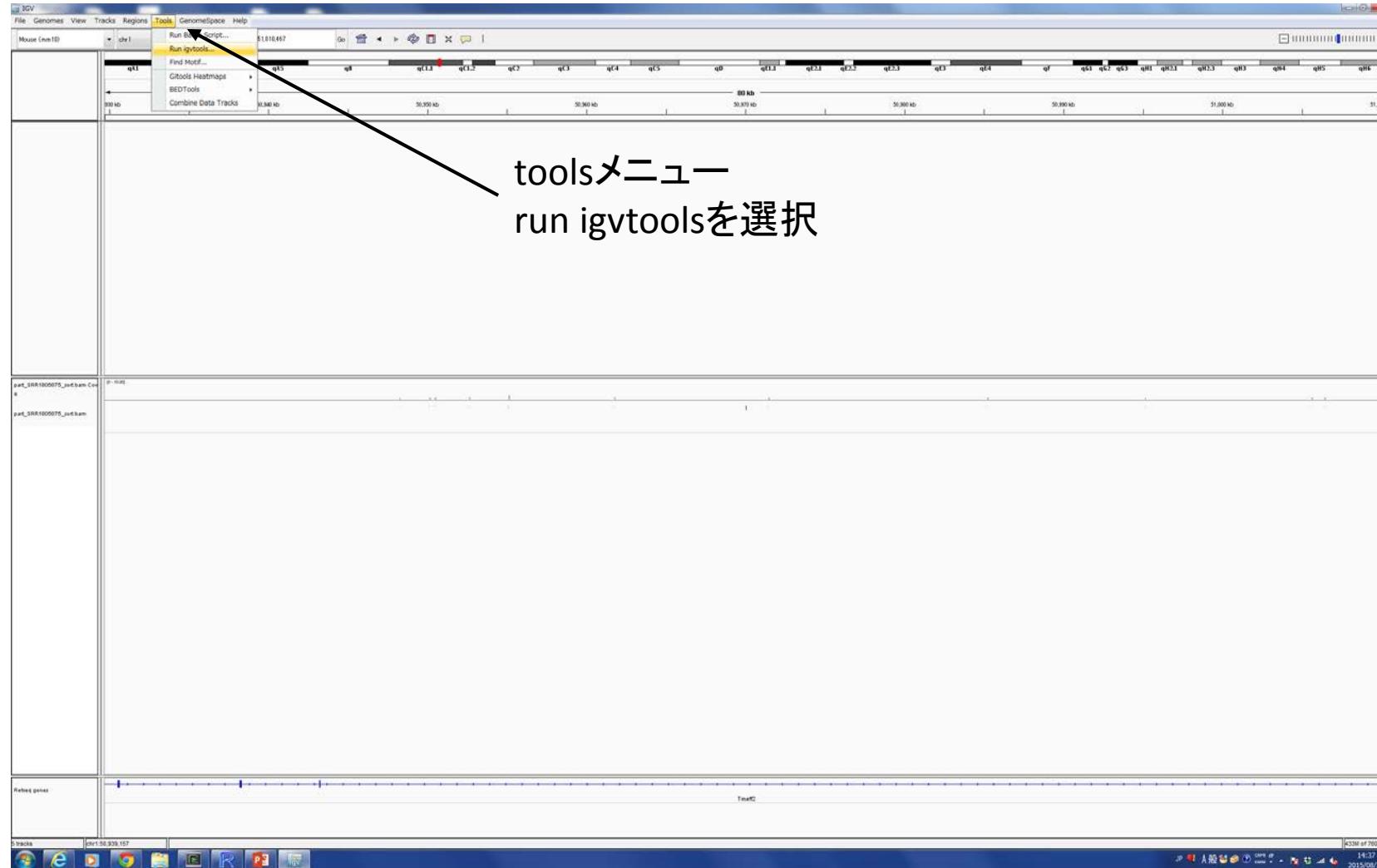


遺伝子名で検索

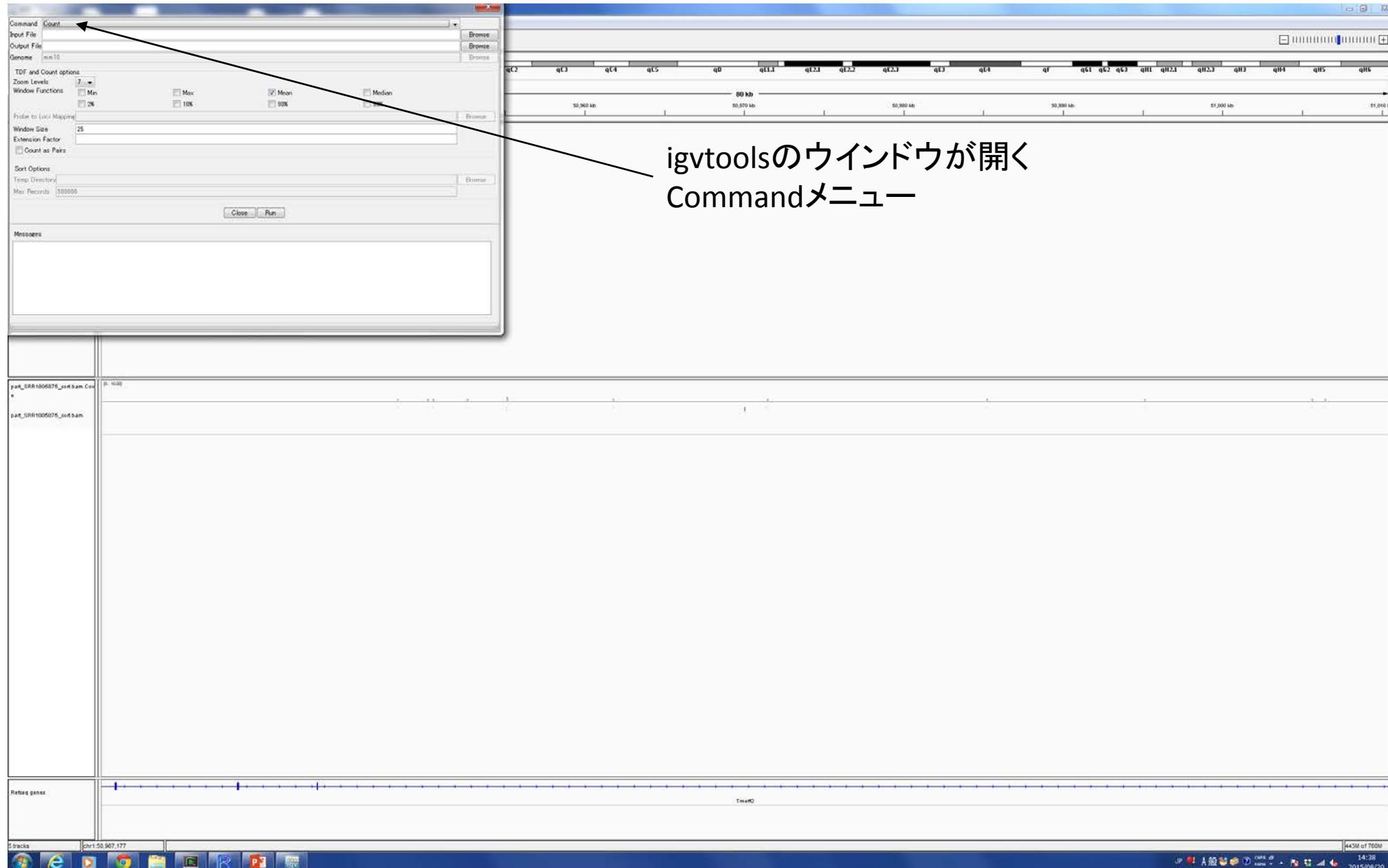


TDFファイルの作成

- TDFファイル: タグ情報のバイナリファイル
容量が少なく扱いやすい



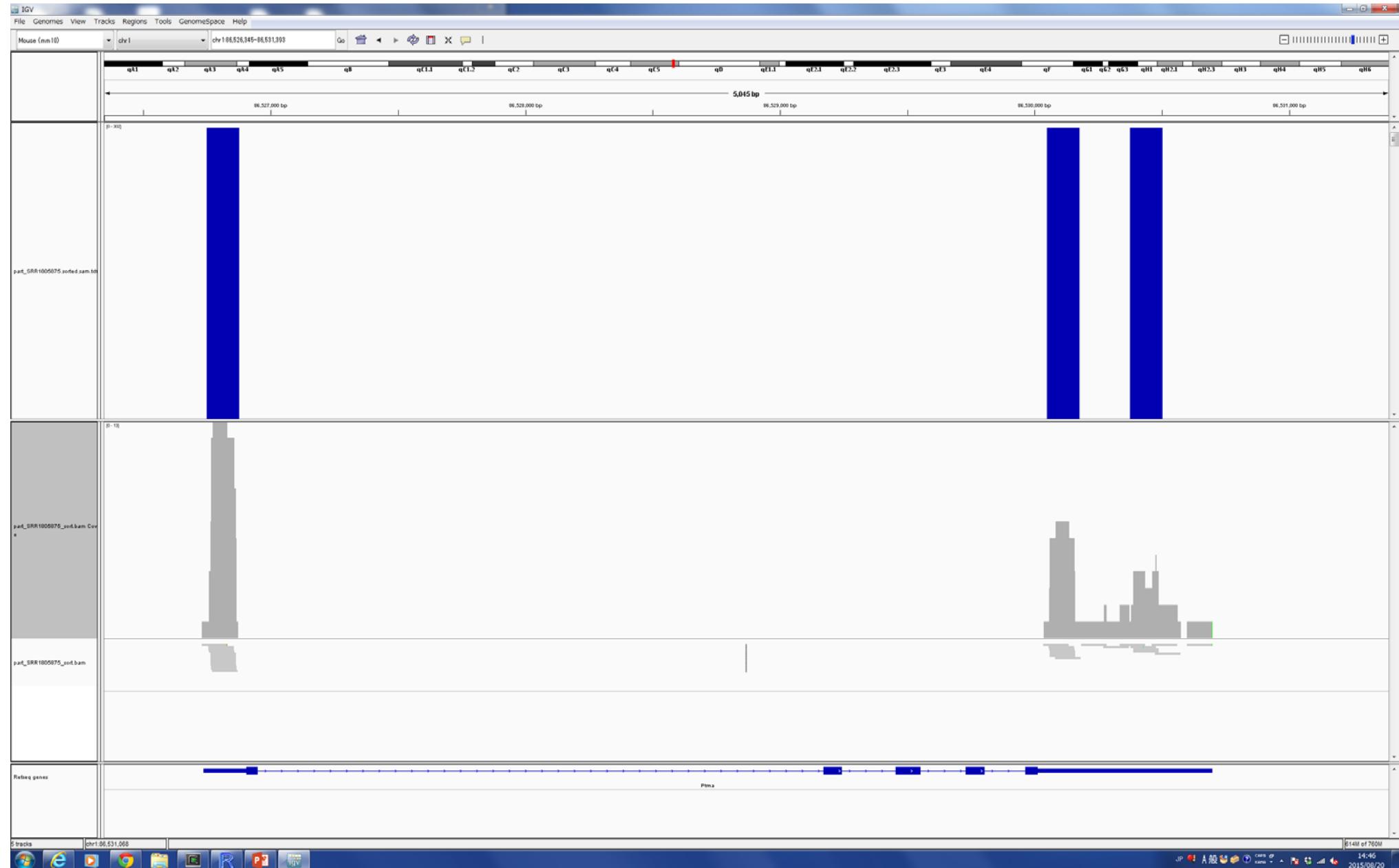
igvtools



sort→index→count

- samファイルをソート
ファイル名.sorted.sam
- インデックスを作成
ファイル名.sorted.sam.sai
- TDFファイルを作成
ファイル名.sorted.sam.tdf

ptma



まとめ

- マッピングしたsamフォーマットの配列情報をsamtoolsでbamファイルに変換
- インデックスを作成
- IGVにアップロード、データを可視化
- igvtoolsでsamファイルをソート、インデックス作成、tdfファイルを作成
- tdfファイルをIGVにアップロード、可視化